



講座だより

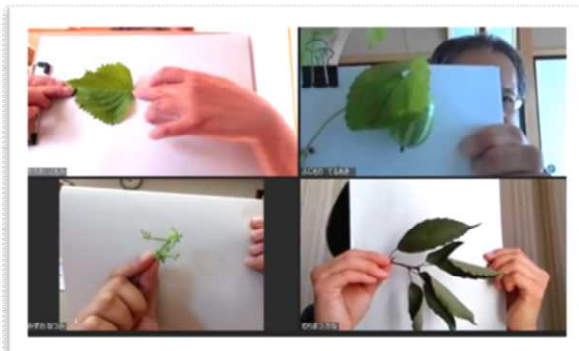


【第4回講師 川田奈穂子氏】

令和3年9月25日（土）に森林環境教育指導者養成講座の『養成コース第4回』を実施しました。『教材としての森林』をテーマに、「トヨタの森」のインタープリターの川田奈穂子氏を講師にお招きし、森林をどのように環境教育に活用できるのか、実際に森林の自然素材を使った体験プログラムを実施していただきました。また後半は体験を振り返り伝えるための工夫や、考え方の講義を行いました。第4回も新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインでの実施ではありましたが学びの多い講座となりました。

【午前】教材としての森林（体験）

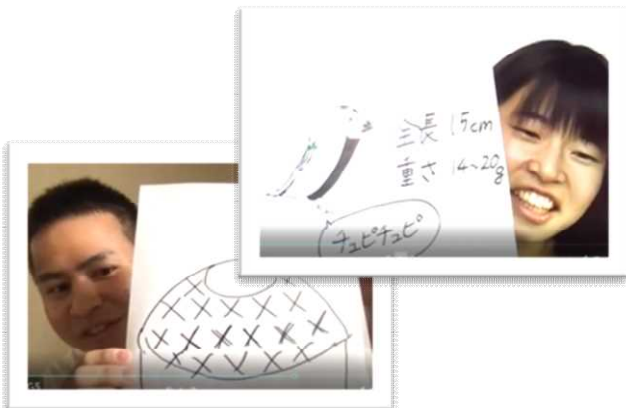
午前中は講師による森林環境教育プログラムの体験を行いました。実際に森林をどのような手法で伝えているのか学びました。事前に受講者に身近な自然素材を拾ってもらい、それらを3～4名のグループで法則を考えて並べ、他のグループにどんな法則で並べているのか当ててもらうゲームや、ドングリの散布をくじ引きをしながら学ぶアクティビティなど、オンラインでも森林の魅力に触れることができました。また土壌の保水力について事前に実験の動画を撮影して見せるなど、講師の様々な工夫を学ぶことができました。



【アクティビティの体験の様子】

【午後】教材としての森林（講義）

【実習の発表の様子】



午後は、午前中の体験の振り返りを行いました。講師がプログラムの中で「工夫していたこと」「伝えるために配慮していたこと」について、受講者が気づいた点を話し合いました。また講師からはイラストを見せることや、小道具を使って分かりやすくすること、クイズを入れて双方向のやり取りを入れるなど、受講者がすぐに取り組みめるポイントを教えてもらいました。後半はグループに分かれ、与えられたテーマについて、ポイントを意識しながら解説を考える実習を行いました。どのグループも工夫がされた魅力的な解説を考えることができていました。

<発行元>